



沢ガール?の正しい休日の過ごし方

## 矢沢 軍刀利沢

國田

【日時】 2010年8月7日(土)

【メンバー】L坂村、國田

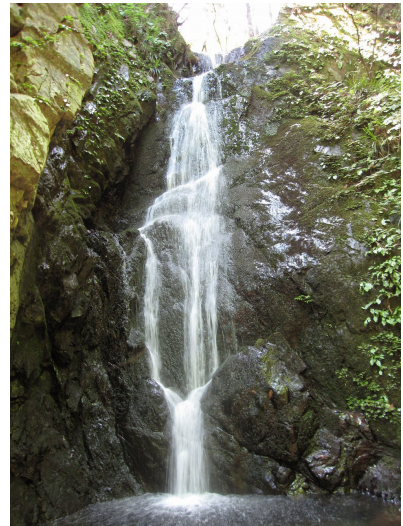
バス停を降りてすぐの矢沢林道を暫く歩くと落合橋となり、左手にひたすら行く。林道脇の樹木に赤いビニールテープが巻いてあり、そこにマジックで書かれた軍太沢の文字が、入渓点に間違いないことを示している。なんだか、少しガッカリした。

最初に現れた2条4mの滝は右のバンドをよじ登り、水流の右を登る。その後、ゴロ歩きを挿みながら、5mくの字滝は左から、8mナメ滝も左から登る。次の2段10m滝の直登は難しい為、右から高巻くが、やや悪いので残置ロープを目指して登り、最後は落ち口を避けて大きめに降りた。標高600mで分岐となり、左に進むとすぐに核心部の5mナメ滝があったのだが、難なく越えたので特に印象がない。その後の滝も、2人でなんとか越えていった。この沢は、所々に5m程度の滝が現れ、私達にも手ごろな登りが楽しめる。クライミングジムから足が遠のいたせいも、重い体が持ち上がらない所では、何度か坂村さんにお助けロープを出してもらった。

その後、710mの分岐を690mの分岐と見誤り、一度左に進路を取ってしまった。しばらく進むとすぐに水も枯れ、出てくるはずの分岐も無く滝も全くない。再度確認し、方向も違うので、結局引き返すことにした。引き返してからは、水流も多く、小滝もまだ幾つか出てきたので、やはり本流は違うと実感。最近の雨も降らず、普段よりは水量が少ないと感じていたのが、見誤った判断材料になってしまった。

最後は、フカフカの土壁で、踏み跡もしっかりついていたので、迷うことなく登山道に出られた。猛暑で標高も低い山なので汗だくを覚悟していた下山路は、全て樹林帯だったので、以外に涼しく、最小限の汗で下ることが出来た。

メジャーな初級の沢だが、自分達だけで行けたということでの充実感は得られた。最近流行りの山ガールに対抗し、これからは沢ガールを普及させたいものだ。



【行程】南郷バス停(9:40)～入渓点(10:48)～P710二俣(12:42)～登山道(13:33)～上川乗バス停(15:25)

【地図】五日市、与瀬、上野原